

9月9日は「救急の日」

救急医療週間 9月6日(日)～12日(土)



たらいいか困ったときには、消防署に相談してください。

熱中症に注意

熱中症は、気温や湿度の高い環境下で体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体内の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときにはけいれんや意識障害など、さまざまな症状が現れます。

まだまだ残暑が厳しい季節です。次のことに気をつけて熱中症を予防しましょう。

- ・エアコンや扇風機を利用して部屋の温度が28度を越えないように調整しましょう
- ・のどが渇いたと感じたら水分補給をしましょう
- ・のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう
- ・外出の際は涼しい格好で、日焼け対策も行いましょう
- ・無理をせず適度に休憩をとりましょう
- ・日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりに取り組みましょう

問い合わせ

長門市消防本部
警防課救急係 Tel 22-5295
中央消防署 Tel 22-0119
西消防署 Tel 32-1230

正しい救急車の利用を

「救急車で駆け早く診てもらえる」「救急車は無料だから」「サイレンは鳴らさないで来てくれ」「あそこの病院には行きたくない」など、救急車が適正に利用されていないケースがあります。

緊急時に市民の命を救うために使われる救急車は、文字通り命を「救」うために「急」ぐ「車」です。救急車は急を要しない軽い病気やけがで利用すると救急車の数が足りなくなり、重病人や大けがをした人を病院へ運ぶのが遅くなってしまいます。救急車は正しく利用しましょう。

ただし、救急車が本来に必要だと思われる時には、ためらわずに呼んで下さい。またどうし

救急車の出場件数は 前年より増加

長門市消防本部では、3台の救急車により24時間体制で救急対応しています。

平成26年中の救急出場件数は、1,846件、搬送人員は1,761人と、前年(25年)に比べ4件増加、搬送人員は10人の減少となりました。これは過去2番目に多い救急出場件数であり、管内人口の約21人に1人を搬送したことになります。

9月9日を含む一週間は「救急医療週間」

長門市消防本部では、この期間中に次のような行事を予定しています。

- 一日救急隊長
市内救急指定病院の看護師が救急出場を体験します。
- AED設置救急ステーション認定証交付式
AEDを設置した救急ステーション事業所に対し認定証を交付します。

ポスターの掲示
救急医療週間や救急医療についての理解を深めてもらえるよう周知を行います。

● 応急手当講習
希望者(事業所) に対して実施します。

このような利用をしていませんか？

休日・夜間の病院探し 休日・夜間の病院がわからないという理由で利用していませんか？	入院・通院 入院・通院のために呼んでいませんか？
交通機関がわり タクシーなどの交通機関がわりに利用していませんか？	軽い症状・ケガ 緊急性のない軽い症状、ケガなどで呼んでいませんか？

熱中症は、気温や湿度の高い環境下で体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体内の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときにはけいれんや意識障害など、さまざまな症状が現れます。

まだまだ残暑が厳しい季節です。次のことに気をつけて熱中症を予防しましょう。

- ・エアコンや扇風機を利用して部屋の温度が28度を越えないように調整しましょう
- ・のどが渇いたと感じたら水分補給をしましょう
- ・のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう
- ・外出の際は涼しい格好で、日焼け対策も行いましょう
- ・無理をせず適度に休憩をとりましょう
- ・日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりに取り組みましょう

台風から身を守るために

強い風と大量の雨をもたらす台風は、地震や集中豪雨と違い、ある程度襲来時期や大きさを予測することができません。日ごろから気象情報に注意して、早めの対策を心掛けましょう。

台風には十分な警戒を

台風による死傷者の多くは、強風によるものです。台風接近中、屋根の上で作業している際に転落したり、家や船、田など屋外での作業中に、事故は起こっています。台風に対する備えを早めに行い、強風時には外出しないようにしましょう。

一方、台風は豪雨にも注意が必要で、局地的な大雨により土砂災害が発生する場合があります。自宅裏の崖や裏山が普段と変わった様子がないか注意しましょう。

避難の準備

台風が来ることを知ったら、避難場所を確認し、いつでも避難できるように備えましょう。

また、市が発表する情報(避難準備情報、避難勧告など)に注意し、必要に応じて速やかに

避難してください。

避難する際には、落石や浸水の安全な経路を選び、土砂災害の恐れがない避難場所へ避難しましょう。もし逃げ遅れた場合は、自宅の2階や山とは反対の部屋に避難しましょう。

市が発表する情報は、防災メールやほっちゃテレビ、市ホームページ、告知端末、FMアラーム(緊急時)から得ることができます。

※避難場所については、広報ながとが平成27年2月号に掲載しています

台風が近づいたら

台風が接近してきたら、ラジオ・テレビ・インターネットなどの台風情報や気象情報に注意し、万が一のときに余裕を持って行動ができるよう万全の対策をとりましょう。

また、突風で体が飛ばされた

夜の停電に備えて

停電時に慌てないように、事前に懐中電灯や携帯ラジオを決まった場所に置いておきましょう。また、長時間にわたり停電する場合があります。予備の電池や食料品・飲料水を十分用意し、風呂には水を張り(幼児の転落に注意)、トイレなどに使う生活用水を確保しておきましょう。

防災出前講座実施中

市では災害に関する知識を深め、防災意識を高めるため、防災危機管理課職員による「防災出前講座」を実施します。自治会集会やサロンなど、皆さんの集う機会に利用してください。

休日や夜間でも対応しますので、防災危機管理課までお問い合わせください。

防災メールの登録を

市ではあらかじめ登録した人に気象情報・避難情報や交通安全、火災情報、防犯、国民保護の情報などを携帯電話やパソコンなど、メール受信できる機器に配信しています。登録は無料ですが、受信するための通信料は自己負担です。

●登録・変更方法

- 1 登録・変更用のアドレス、e-nagato@presmail.jpへ空メール(件名や本文を入力しないメール)を送信してください。QRコード対応の携帯電話であれば、下図からアドレスを読み込めます
- 2 登録・変更用メールが届いたら、本文内のたアドレスにアクセスしてください
- 3 登録・変更画面の指示に従って、必要な情報や地域にチェックしてください
- 4 「登録」ボタンを押して登録完了です



台風が来る前に

風雨が強くなる前に、

問い合わせ 防災危機管理課
Tel 23-1111